

友人同士の対立場面における介入行動尺度の作成

○松山康成 (寝屋川市立西小学校)
栗原慎二 (広島大学)

真田穰人 (広島大学大学院)

キーワード：介入行動，修復的対話，メディエーション

問題と目的

対立する人と人の仲を取り持つことは、人として大切な行動である。しかし、誰もが他者の対立に介入し、問題を解決できるわけではない。最近、対立問題における第三者の介入行動を、ピア・メディエーション(Johnson & Johnson, 1996)や修復的アプローチ(Morrison, 2002)などの教育的支援によってよりよい解決手続きを実現するアプローチやプログラムが検討されつつある。

しかし、教育的支援の実践が広がる中で、実際の対立場面における介入行動や解決手続きについては、解明されていない。そこで本研究では小学生を対象とした友人同士の対立場面における介入行動を測定する心理尺度を作成する。なお、尺度の併存的妥当性を検討するために、向社会的目標(中谷, 1996), 被影響性・自己志向的反応(鈴木・木野, 2008), 向社会的行動(横塚, 1989)との関連を検討する。

方 法

項目の作成 小学生 6 年生 60 名(男子児童 31 名, 女子児童 29 名)を対象として予備調査を実施した。クラスメイトが対立しているという設定の 3 つの場面をイラストで提示し、「あなたはこのような場面を見たらどうしますか」について尋ねた。得られた結果を第 1 筆者と心理学を専攻する大学院生 1 名がそれぞれ KJ 法によって分類した。その結果、計 27 項目を予備的な尺度とした。

調査対象と調査時期 大阪府下の公立小学校の小学生 202 名の 5, 6 年生の児童(男子児童 93 名, 女子児童 109 名)を対象に 2018 年 5 月から 6 月に実施した。

調査内容 友人同士の対立場面における介入行動尺度と妥当性を検討するための 4 つの尺度をすべて 4 件法で実施した。

結果と考察

因子分析 複数の因子に高い付加を示す項目や、因子負荷量が.35 以下の項目を削除し、探索的因子分析(最尤法・プロマックス回転)を実施した。その結果、最終的に 4 因子 22 項目が抽出された。第 1 因子を「援助思考」、第 2 因子を「傍観思考」、第 3 因子を「非介入思考」、第 4 因子を「介入思考」と命名した(Table1)。

信頼性の検討 Cronbach の α 係数を算出した。その結果、援助思考が.86, 傍観思考が.61, 非介入思考が.70, 介入思考が.63 であった。傍観思考

と介入思考の α 係数がわずかに低いものの、使用に耐えられる範囲内の信頼性に収まっていた。
併存的妥当性の検討 援助思考は向社会的目標と有意な正の相関($r=.26, p<.001$), 自己志向的反応と有意な負の相関($r=-.42, p<.001$), 向社会的行動と有意な正の相関を示した($r=.28, p<.001$)。傍観思考は被影響性と有意な正の相関($r=.35, p<.001$), 自己志向的反応と正の相関($r=.23, p<.01$)を示した。非介入思考は向社会的目標と有意な負の相関($r=-.39, p<.001$), 被影響性と弱い正の相関($r=.06, p<.05$), 自己志向的反応と有意な正の相関($r=.58, p<.001$), 向社会的行動と有意な負の相関を示した($r=-.42, p<.001$)。介入思考は自己志向的反応と有意な負の相関($r=-.39, p<.001$), 向社会的行動と有意な正の相関を示した($r=.51, p<.001$)。以上の結果から、本研究で作成した小学生における介入行動尺度は、一定の妥当性を有するものと考えられる。

Table1 介入行動尺度の探索的因子分析結果と基礎統計量、共通性

	F1	F2	F3	F4	Mean	SD	共通性
<第1因子 援助思考>							
けんかをして苦しんでいる人にやさしく接したいと思います。	.70	.11	-.02	.07	3.22	0.89	0.58
誰かを呼んでけんかを止めに入りたいと思います。	.69	.07	-.14	-.19	2.99	0.98	0.46
けんかで苦しんでいる人のそばにいてあげます。	.66	.01	.17	-.19	2.82	0.93	0.55
けんかで苦しんでいる人を自分の友人グループに入れてあげます。	.59	-.15	.17	.06	2.76	0.96	0.38
けんかをしている人に対して声をかけます。	.57	-.15	-.21	-.01	3.01	0.98	0.75
けんかで苦しんでいる人をなぐさめます。	.54	-.09	.02	.09	3.06	0.95	0.36
けんかをやめさせたいと思います。	.53	-.13	-.05	.23	3.17	0.92	0.50
けんかをして苦しんでいる人を助けたいと思います。	.52	.30	.01	-.01	2.96	1.13	0.40
けんかをしている人に誰かといっしょにけんかの理由を聞きます。	.52	.01	.03	.31	2.98	0.89	0.52
けんかが起きていることを先生や大人に伝えます。	.48	-.14	-.07	.02	2.95	1.03	0.32
<第2因子 傍観思考>							
けんかを止めに入らないほうがいいです。	-.04	.84	.12	.31	2.14	1.09	0.75
けんかが起きているにもかかわらずいいだろうと思います。	.18	.68	.18	-.22	2.35	1.15	0.59
誰かがけんかをしている最中に誰かといっしょに仲直りに入ります。	.25	-.57	.32	.20	2.53	1.01	0.47
けんかを止めに入ることはやろうと思ってもできません。	.26	.58	.17	.20	2.57	1.08	0.36
けんかをやめるように言うことは役に立たないことです。	-.22	.42	.05	-.15	1.82	0.97	0.46
<第3因子 非介入思考>							
けんかをやめるように言わない方がいいと思います。	-.09	.15	.57	.11	1.81	0.95	0.43
けんかを止めに入ろうという気持ちになりません。	-.31	.14	.57	.06	1.95	1.02	0.62
けんかを止めに入ると自分もまきこまれる気がするのを止めません。	.05	.04	.54	-.28	2.10	1.03	0.39
けんかが起きていても気にしないようにします。	-.15	.04	.58	.03	1.81	0.93	0.38
<第4因子 介入思考>							
けんかをしている人に自分一人でけんかの理由を聞きます。	.06	.04	-.57	.66	2.74	0.92	0.51
けんかをしてた人の話を聞いてあげます。	.24	.08	-.05	.51	3.10	0.91	0.44
誰かがけんかをしている最中に自分一人で仲直りに入ります。	.23	-.14	-.01	.40	2.43	0.92	0.35
寄与率 25.1% 11.3% 7.9% 6.4%							
累積寄与率 25.1% 36.4% 44.4% 50.8%							